

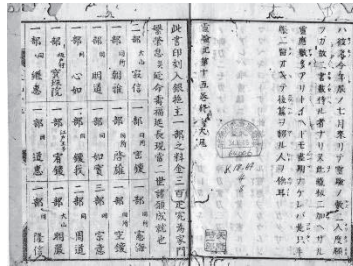
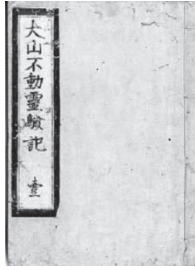
おおやまふどうれいげんき

# #30 大山不動靈験記

作者：心蔵（しんぞう 生没年不詳）

刊行：寛政4年（1792）

※『江戸を読む』より転載



[K18.64/4]

## 📖 解題

### ■ 内容

『大山不動靈験記』は大山不動明王の靈験譚を集めたものである。全15巻から成り、第1巻（第1話～第6話）は開山良弁僧正略伝・中興開山願行上人略伝・大山寺造営年時事・御代々御朱印被成下事・御祈禱年中行事・大山寺事紀等から成り、大山寺の概要が記されている。

大山不動明王の靈験譚は、第2巻から第15巻（第7話～第131話）に収められており、どのような行いをすれば、大山不動明王のご利益を得られるのかが示されている。当館では全15巻を所蔵しているが、奥付は失われている。

### ■ 作者

作者は心蔵。相模国大山寺塔頭（たっちゅう）養智院（12坊の一つ）の前住職である心蔵が、自らの見聞や大山寺の学僧・御師（おし）や庶民等からの聞き取りをもとにまとめたものが当資料である。施主の名前が列記されている巻末の記述から大山に信仰心をもつ賛同者が様々な祈願をこめて出資をしていることがうかがえる。

### 第3章 思想・宗教

#### 📖 本文を読む

##### <部分翻刻>

植木彌一『相模國大山寺 大堂不動明王御由来記 接續不動尊御靈驗記』

植木彌一 1900 [K18.64/18]

圭室文雄「『大山不動靈驗記』にみる大山信仰」(『郷土神奈川』第18号 神奈川県立文化資料館 1986) [K097/3/16-20]

西垣晴次「近世から中世へー『大山不動靈驗記』にみえる中世的要素についてー」(『近世の村と町』川村優編 吉川弘文館 1988) [210.5/310]

川島敏郎「『大山不動靈驗記』にみる庶民と信仰ー縁起が語られ、広まるわけー」(『あつぎ 縁起書の世界ー神さま仏さまのプロフィールー』厚木市郷土資料館 厚木市教育委員会 2012) [K17.92/15]

##### <全文翻刻>

『大山不動靈驗記』全15巻 川島敏郎釈文・解説 2016

※神奈川県立図書館「神奈川県郷土資料アーカイブ」で閲覧可能

#### 📖 参考文献

圭室文雄「『大山不動靈驗記』にみる大山信仰」(『大山信仰』圭室文雄編 雄山閣出版 1992) [K17.64/33] [163.1AA/102] ※初出『郷土神奈川』第18号「第三章 大山不動靈驗記にみる大山信仰」(『伊勢原市史 別編 社寺』伊勢原市史編集委員会 伊勢原市 1999) [K21.64/7/3-2]

川島敏郎「古記録から見た大山信仰の諸相ー『大山寺縁起絵巻』・『大山不動靈驗記』を中心としてー」(『神奈川県立公文書館紀要』第6号 神奈川県立公文書館 2008) [K01/71/6]

鈴木めぐみ「かながわ資料室所蔵の大山関係資料について」(『神奈川県立図書館紀要』第9号 神奈川県立図書館 2011) [K097/4/9]

川島敏郎「『大山不動靈驗記』にみる庶民と信仰ー縁起が語られ、広まるわけー」(『あつぎ 縁起書の世界ー神さま仏さまのプロフィールー』厚木市郷土資料館 厚木市教育委員会 2012) [K17.92/15]

『相州大山信仰の底流ー通史・縁起・靈驗譚・旅日記などを介してー』川島敏郎著 山川出版社 2016 [K17.64/58]